

「新潟市巻ほたるの里公園及び新潟市ほたるの里交流館」指定管理応募者事業計画

西蒲区産業観光課

評価項目	株式会社 福井開発 (選定者)
1. 事業者の概要	<p>設立 平成4年10月1日</p> <p>資本金 1,000万円</p> <p>売上高 176,095千円(令和元年度)</p> <p>従業員数 42名</p> <p>事業内容 施設の維持管理・運営、自主事業の実施</p> <p>施設管理実績 平成17年7月～ 新潟市巻ほたるの里公園指定管理者 平成18年4月～ 新潟市ほたるの里交流館指定管理者</p>
2. 経営理念・経営方針、指定管理者申請の動機	<p>経営理念は「お風呂を通じて人生を幸せに、お風呂を通じて人とつながりたい」。施設を居心地の良い、楽しくあったかい「地域で一番笑顔が集まる場所」にしたい、それにより西蒲地域や新潟を楽しくあったかくしていきたいという目的をもって申請した。</p>
3. 新潟市の施策に対する理解(観光拠点としての取り組み等)	<p>「地域の新鮮でおいしい食材」を、ふんだんに取り入れたメニューを食堂で提供し、地元の農業生産者の顔や取り組みなどを紹介することで「食と農」、「まちの魅力」を市内外に伝える。また、お酒など西蒲区で作られたものを、作っている人の顔が見えるようにしながら紹介する「地域をつなぐコミュニティベース」づくりを目指す。さらに「温泉」の様々な楽しみ方を発信し、「地域とつながる日帰り温泉」をテーマに地域資源を活かしたイベントを開催するなど、観光拠点としての取り組みを行う。</p>
4. 観光振興及び健康増進事業など、指定管理業務に係る事業計画 (1) 運営方針 (2) 集客計画 (3) 入館者数及び利用料収入見込等	<p>《新潟市巻ほたるの里公園》</p> <p>(1) 浴場の設備や豪華さではなく、全体のコンセプトと共有スペースにおける居心地の良さにこだわった改装による長時間滞在を目指し、他施設との差別化を図る。</p> <p>(2) シニア層に加え、ファミリー層や若い世代にも支持される施設づくりを行う。また、リピーターを飽きさせない独自のイベントを企画し、利用促進を図る。</p> <p>(3) 令和3年度入館者数見込み 100,744人 利用料収入見込み 62,152千円</p> <p>《新潟市ほたるの里交流館》</p> <p>(1) 木の良さの普及を通じ木材の需要拡大と林業の振興を目指し、公園施設との連携を強化して施設の有効活用を進める。</p> <p>(2) 「じよんのび館」ロビーでの林業DVD放映など、周辺施設利用者の取り込みを強化する。また、絵等の作品展の実施や、会議等の積極的な誘致を行う。</p> <p>(3) 目標入館者数 3,000人 使用料収入見込 ○研修室及び交流室使用料 50,000円</p> <p>(4) 季節毎の「カルチャー教室」や「木材を利用した工作教室」を実施。</p>
5. 自主事業を実施する場合の事業計画	<p>○食堂 「地域とつながる日帰り温泉」をテーマに、生産者の思いを大切に、地元の商品や食材を利用して展開する。郷土料理定食「にしかんめし」・ひな祭り等の行事メニューの提供、毎月のメニュー更新等。</p> <p>○売店 西蒲地域の商品を中心に販売する。週末は地元の野菜を販売する。</p>
6. サービス内容等	<p>《じよんのび館及びほたるの里交流館》</p> <p>開館時間 午前10時～午後10時</p> <p>休館日 1月及び12月を除く月の第1・第3水曜日(祝日の場合は翌日)と1月及び12月の第3水曜日及び12月31日及び1月1日 ※ただし、じよんのび館は、集客が見込める日は、休館せず営業する。(市と協議の上)</p> <p>《角田山自然館》</p> <p>開館時間 午前9時～午後5時</p> <p>休館日 1月及び12月を除く月の第1・第3水曜日(祝日の場合は翌日)と1月及び12月の第3水曜日及び12月31日及び1月1日</p>
7. 利用者の増加に対する取り組み	<p>《じよんのび館》</p> <p>館内のレイアウトを変更し、利用者が過ごしやすい環境を整える。また、気軽に参加できるイベントを開催し、SNS発信や新聞・雑誌等の露出を増やし、話題として取り上げられるようにすることで来館者数の増加を図る。</p> <p>《ほたるの里交流館》</p> <p>じよんのび館利用者の取り込みと、じよんのび館事業との連携を強化することで自主事業の魅力強化し利用者を拡大する。また、利用促進として、一般企業はもちろんのこと、婦人会等団体に研修会での食事付プランを進める。自主事業を単発に終らすことなく連続的に行う。</p>
8. じよんのび館の料金設定の方針等	<p>○各種割引のうち、入館者増に結び付かない割引は廃止する。</p> <p>○現行のタオル付料金を改め、タオルなしの料金とし、現行より料金を下げる。タオルは別料金で貸し出す。</p>

<p>9. 収支計画</p>	<p>《新潟市巻ほたるの里公園》</p> <table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>19,348 千円</td> <td>(前年度実績 18,069 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用料金</td> <td>62,152 千円</td> <td>(前年度実績 74,705 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他収入</td> <td>6,167 千円</td> <td>(前年度実績 5,355 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自主事業収入</td> <td>69,433 千円</td> <td>(前年度実績 87,969 千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">計 157,100 千円 (前年度実績 186,098 千円)</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>33,125 千円</td> <td>(前年度実績 32,898 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>63,871 千円</td> <td>(前年度実績 60,361 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費</td> <td>9,057 千円</td> <td>(前年度実績 8,429 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>57,099 千円</td> <td>(前年度実績 85,791 千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">計 163,152 千円 (前年度実績 187,479 千円)</td> </tr> </table> <p>《新潟市ほたるの里交流館》</p> <table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>2,680 千円</td> <td>(前年度実績 3,220 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自主事業収入</td> <td>50 千円</td> <td>(前年度実績 66 千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">計 2,730 千円 (前年度実績 3,286 千円)</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>1,658 千円</td> <td>(前年度実績 1,921 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>544 千円</td> <td>(前年度実績 555 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費</td> <td>478 千円</td> <td>(前年度実績 263 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>50 千円</td> <td>(前年度実績 165 千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">計 2,730 千円 (前年度実績 2,904 千円)</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	19,348 千円	(前年度実績 18,069 千円)		利用料金	62,152 千円	(前年度実績 74,705 千円)		その他収入	6,167 千円	(前年度実績 5,355 千円)		自主事業収入	69,433 千円	(前年度実績 87,969 千円)	計 157,100 千円 (前年度実績 186,098 千円)				支出	人件費	33,125 千円	(前年度実績 32,898 千円)		管理費	63,871 千円	(前年度実績 60,361 千円)		事務費	9,057 千円	(前年度実績 8,429 千円)		事業費	57,099 千円	(前年度実績 85,791 千円)	計 163,152 千円 (前年度実績 187,479 千円)				収入	指定管理料	2,680 千円	(前年度実績 3,220 千円)		自主事業収入	50 千円	(前年度実績 66 千円)	計 2,730 千円 (前年度実績 3,286 千円)				支出	人件費	1,658 千円	(前年度実績 1,921 千円)		管理費	544 千円	(前年度実績 555 千円)		事務費	478 千円	(前年度実績 263 千円)		事業費	50 千円	(前年度実績 165 千円)	計 2,730 千円 (前年度実績 2,904 千円)			
収入	指定管理料	19,348 千円	(前年度実績 18,069 千円)																																																																						
	利用料金	62,152 千円	(前年度実績 74,705 千円)																																																																						
	その他収入	6,167 千円	(前年度実績 5,355 千円)																																																																						
	自主事業収入	69,433 千円	(前年度実績 87,969 千円)																																																																						
計 157,100 千円 (前年度実績 186,098 千円)																																																																									
支出	人件費	33,125 千円	(前年度実績 32,898 千円)																																																																						
	管理費	63,871 千円	(前年度実績 60,361 千円)																																																																						
	事務費	9,057 千円	(前年度実績 8,429 千円)																																																																						
	事業費	57,099 千円	(前年度実績 85,791 千円)																																																																						
計 163,152 千円 (前年度実績 187,479 千円)																																																																									
収入	指定管理料	2,680 千円	(前年度実績 3,220 千円)																																																																						
	自主事業収入	50 千円	(前年度実績 66 千円)																																																																						
計 2,730 千円 (前年度実績 3,286 千円)																																																																									
支出	人件費	1,658 千円	(前年度実績 1,921 千円)																																																																						
	管理費	544 千円	(前年度実績 555 千円)																																																																						
	事務費	478 千円	(前年度実績 263 千円)																																																																						
	事業費	50 千円	(前年度実績 165 千円)																																																																						
計 2,730 千円 (前年度実績 2,904 千円)																																																																									
10. 組織・人員体制	人員 役員4名、正社員13名、臨時およびパート29名																																																																								
11. 雇用・労働条件	始業・終業時間：午前6時45分～午後11時 シフト制 月の労働時間：177時間（31日の場合） 休憩時間：6時間以上の勤務は45分、8時間以上の勤務は1時間																																																																								
12. 人材育成の取り組み	市民感覚・経営感覚・チャレンジ精神・豊かな人間性を「目指すスタッフ像」とし、各種研修を行う。																																																																								
13. 安全確保及び緊急時の対策	日常点検等 設備点検、定期的な館内巡回、検温や定期的な換気・消毒など新型コロナウイルス対策。 防災・災害への対策 消防訓練、救命講習の実施、緊急時対応マニュアルに基づく研修の実施。																																																																								
14. 衛生管理・利用者の健康に対する取り組み	飲料水は貯水槽の年1回の清掃と水質検査を実施。食品管理は「食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針」を遵守して各種マニュアルを整備し、厨房の衛生管理を行う。施設内の清掃は、清掃業務仕様書に基づき日常清掃、定期清掃、特別清掃を実施する。全スタッフが清掃研修を受け、作業指示書に従って作業を行う。																																																																								
15. 井戸・源泉等の管理、浴場等の衛生管理に対する取り組み	県条例の基準に従い適正な維持管理を徹底する。浴槽は毎日完全換水し清掃消毒し、貯湯槽、循環配管は清掃消毒を定期的に行う。2カ月毎に専門機関で浴槽水検査を実施する。																																																																								
16. 要望・苦情への対応	アンケートを実施し、お客様相談室を設置する。現場での対応は誠意をもって行うとともに、スタッフ間で情報を共有し利用者に対して統一した対応を行い、苦情内容はデータベースに集約し予防策の検討を行う。																																																																								
17. 個人情報の取り扱い・コンプライアンス	独自の個人情報保護マニュアルに管理体制・具体的なデータ保護方策・廃棄の手順等、情報漏えい防止のための必要な手続きを定め、的確にもれなく業務を遂行できる体制とする。また、本社のISO品質マネジメントシステムマニュアルを準用し、コンプライアンスに取り組む。																																																																								
18. 環境保護の取り組み	スタッフ個々の省エネへの意識を高め、節電・節水に努める。設備や物品をこまめに手入れし、買い替えや修繕のコストを削減する。リサイクルを積極的に推進する。																																																																								
19. 社会貢献活動等の実績	「社会福祉法人更生慈仁会」「社会福祉法人親和福祉会」と連携し、障がい者の職業訓練等で作られた製品を積極的に導入している。																																																																								
20. 地域や関係機関との連携	地元企業などと協力し、地域振興の一助となるイベントに協力する。(実績：ヒルクライム・福井ほたる祭り・にしかん観光周遊ぐる～んバスへの協賛、地元産品を使った日本酒風呂などの変わり風呂の開催)																																																																								
21. 地元経済振興・雇用確保	施設の点検業務などをできる限り地元の企業や団体に発注する。また、地元主婦・地元高齢者の採用を促進し、地元の人的資源を活かし地域密着サービスの提供を目指す。																																																																								
22. ワーク・ライフ・バランス等を推進する取り組み	積極的に役職に女性を登用している。また、男女が共に働きやすい職場環境を整え、適切なワーク・ライフ・バランスの実現を目指す。																																																																								